

天白区南部の相生山緑地を横切る道路として計画され、工事が中断している市道弥富相生山線の建設再開の是非について、河村たかし市長が住民から意見を聴く集会が十一日、天白区役所講堂であった。建設賛成派は、周辺の渋滞解消などのための建設再開を、反対派は相生山緑地の自然保護などをそれぞれ訴えた。住民の意見をまとめた形で聴くのは今回が最後。河村市長は年内に、建設を再開するか中止するかを決める。

(北村剛史、丸田稔之)

「相生山道路」の住民意見聴取会

集会は反対派向けが100人が参加。「日ごと、自然保護を訴え午後一時半から、賛成派有数のヒメボタル生る声相次いだ。成派向けが同六時半からと別個に開かれた。いずれも一時間半〜二時間にわたり、河村市長と新開輝夫副市長が意見に耳を傾けた。

賛成派 渋滞解消へ建設再開を

反対派 緑地の自然保護を訴え

反対派向け集会に 息地。東京や大阪からは、市民団体のメンバーもいる」など、生活道路を走る車や、地下鉄桜通線が

道路が開通すれば周辺地域の渋滞の解消が期待されている。一方、賛成派向けの集会では、周辺学区に道ができれば、最短距離で避難できるように

海豪雨で被害があった野並地区の住民は「道路ができれば、最短距離で避難できるように



弥富相生山線の建設についての住民意見聴取会であじさつする河村市長(天白区役所)



市道弥富相生山線 瑞穂区弥富町と天白区境根町を結ぶ3.83キロ、相生山緑地を横断する区間は8922坪。横断区間は2004年3月に着工し、この区間の土地買収費や建設費など計36億円のうち29億

円を支出したが、179坪が未完成。緑地にはヒメボタルが生息する。市の担当課によると、一部の道路上部に屋根を設けて土で覆い、草木が育つようにするなど、環境に配慮した工法を採用している。

賛成派の主な意見

- ・宅地化が進み、車の通行が野並交差点に集中している。交通事故も多い
- ・通り抜けする車は工事車両が多い。スピードが出ており、子どもが危ない
- ・(車の) 入り込みが多い生活道路で、児童数が増えている
- ・現状のまま(自然に)手を加えないことが良好な生活環境をつくることではない
- ・工事がストップしたままでも、年間2500万円の費用がかかっている
- ・道路のために、ばく大な資金、知恵、労力を費やしてきた。誇りにしてほしい
- ・水害や地震が発生したとき、住民が避難するための道が必要
- ・40年以上前に相生山で大きな山火事があり、消火に苦労した
- ・環境への影響を調査し、道路は着工された。手を尽くせば、ホテルを守れる
- ・ヒメボタルは交通量が多い名古屋城外堀でも生息している

反対派の主な意見

- ・森には保水力がある。(道路ができれば) 水害の懸念が大きくなる。
- ・相生山は道路ではなく、緑地公園にしてほしい
- ・今回は一般の市民が参加できない。市民不在の形だけの意向調査になる
- ・二酸化炭素削減など森の経済効果を含め、判断してほしい
- ・地下鉄が徳重駅まで延長した後、野並交差点は渋滞というほど混んでいない
- ・自然がどんどん壊されていく。昔はキジもいっぱいいた。タヌキも出た
- ・道路が通ると、森への不法投棄が予想される
- ・道路が開通すると、渋滞が余計に増加する場所が出る
- ・日本を代表するヒメボタルの生息地。東京や大阪から見に来る人もいる
- ・造った道路を残し、自転車と人だけ通せばいい。車いすでホテルを観察できる

設再開を唱えた。

小学校のPTA関係者は「相当数の自動車

が通学路を通っているが、新しい道路ができればそちらに車が流れ、安心だ」と訴えた。

二〇〇〇年九月の東海豪雨で被害があった野並地区の住民は「道

路が開通すれば、最短距離で避難できるように

に、再開の是非を住民投票で判断する方針を掲げた。だが、地域

住民の間に亀裂を生じさせかねないとして、地元から投票に反対する意見が出たため、今回の集会を開いた。

◇集会に参加した団体

【賛成派向け集会】天白区を住みよくなる会、野並学区連絡協議会、山根学区連絡協議会、相生学区連絡協議会、高坂学区連絡協議会

【反対派向け集会】相生山の自然を守る会、相生の里山連絡会、相生山の四季を歩く会、市道弥富相生山線を考える市民の会

名古屋

相生山緑地横断 道路開通に賛否

名古屋市 住民ら170人招く

ヒメボタルの群生地として知られる名古屋市天白区の相生山緑地(約1230畝)を横切る道路建設工事を巡り、名古屋市は11日、地元住民や市民団体など約170人を招き意見を聞く調査会を開いた。こうした調査は工事中断直前の2009年9月以来。継続か中止か意見は割れる中、河村たかし市長は「年内に決断する」と話している。

相生山線は周辺道路の渋滞緩和を目的に建設が計画され、04年に工事が始まった。ところが09年に初当選した河村市長が大規模公共工事の再検討を掲げ、10年に工事を中断。総工費約36億円の8割(約29億円分)が完成し、179戸がつながらないまま、工事は「再検討」の状態が続く。

河村市長は13年4月の市長選で「相生山は住民投票で。住民自ら高度な責任ある判断を」と公約。住民投票にこだわらるがめどが立たない。一方、今年3月の市議会で「今秋までに意向調査を行う」と方針を示し、住民や相生山で活動する団体から意見を聴く今回の調査会の開催が決まった。

11日に天白区役所で開かれた調査会では、相生山線建設に反対する自然保護団体など、4団体約100人がまず招かれた。出席者から「子どもたちが自然との関係を学べる貴重な場所。残して欲しい」「都市の水害で緑地にまさる軽減策はない」などと訴える声が出た。工事跡地をモニユメントや緑道として生かす公園をつくる提案もあった。

続いて、早期開通を求める市民団体や地元の各種団体代表者、区政協力委員ら70人が招かれた。「学区内の事故発生が天白区内でも多い。渋滞と事故の解消のために道路開通を願う」「人命救助、災害復旧活動ができる、欠くことができない道路だ」と建設を求めた声も相次いだ。

一方で今回、市側は参加人数を限定し、一般市民による傍聴も認めなかったため、参加者から「市民不在

で形だけの調査だ。もっと意見を広く聞く機会を設けてほしい」との意見も出た。出席した河村市長は

「納税者の皆さんに喜んでもらえる結論にしないといけない」と述べるにとどめた。

(中村真理)

朝日新聞

2014.10.12 朝刊



相生山緑地市道建設

賛否の意見噴出

名古屋市が住民から聴取

名古屋市が同市天白区の相生山緑地で進める市道建設が、河村たかし市長の判断で2010年1月から中断している問題で、市は11日、地元住民らの意向を聞くための会合を天白区役所で開いた。参加者からは、建設に賛成・反対双方の意見が噴出した。河村市長はこの日の意見を聴取するために開かれた

相生山緑地で中断中の市道建設を巡り、住民らの意向を聴取するために開かれた会合

を参考に、建設の是非を年内に判断したいと考えて。

環境保護などを訴える住民団体から意見を聞く前半と、地元の学区連絡協議会などの代表者を対象にした後半の2回に分けて開いた。合わせて約170人が参加した。

前半では、「自然を壊して道路を通す必要はなく、公園にすべきだ」「(4年半の)中断の間に不都合はなかった」などと、ヒモタルが生息する緑

地の自然環境を守る立場からの発言が相次いだ。また、「限定した市民の意見を聞くだけでいいのか」と、今回の意向聴取の手法を疑問視する声もあった。

一方、後半では、「これまでので工事で使った税金を無駄にするのか」「子供の安全のために交差点の渋滞解消が必要だ」などと、建設工事を再開して早期に開通させるよう求める意見が大勢を占めた。災害時の緊急道路としての必要性を訴える人もいた。

【井上直樹】

2014.10.12
毎日新聞/朝刊

なごや近郊

AICHI
aichimen@mainichi.co.jp

なごや支局

〒460-8351
名古屋市中区正木2の3の1
☎052(324)1510
FAX052(350)3571
春日井担当
☎0568(32)4522
FAX0568(32)4528
津島担当
☎052(324)1510
FAX052(350)3571
日進瀬戸担当
☎052(324)1510
FAX052(350)3571
一宮支局
☎0586(72)3606